

○
一般情勢報告

(自昭和八年九月
至昭和九年九月)

國際情勢

昨年の世界經濟會議の失敗以後、世界各国は從來の國際協調主義を放棄して、所謂經濟プロツク、若くは排外的國民主義經濟、一國自給自足主義に立脚せんとする傾向を強め來つた。其の結果として自由貿易制度の崩壊、關稅壁壘、輸入制當若くは輸入禁止等の政策が行はるるに至つた。即ち各國何れも一方に於ては、輸入を制限し自國市場の擁護を策すると同時に、他方に於ては自國の商品を世界市場に送り出さんとの焦慮を見るに至つた。

然しながら此の矛盾せる政策の破綻は、漸次其の貿易の上に顯はれて世界貿易の不振を招來するに至つた。國際聯盟の調査に據ると、世界全貿易の七八・三%を占めて居る英、米、獨、佛、加奈太、和蘭、白國、日本、伊、印度、露國、支那、南阿、瑞西、滄洲、アルゼンチン、チエコ、日捗、蘭印、瑞典、西班牙の二十一ヶ國の近年の輸出入貿易の指數は次の如くである。

輸入價格指數

一九二九年

一九三〇年

一九三一年

一九三二年

輸入價格指數	一〇〇，〇
八五、一	一〇〇，〇
五八、三	一〇〇，〇
三九、一	一〇〇，〇
輪出價格指數	一〇〇，〇
八〇、〇	一〇〇，〇
五六、九	一〇〇，〇
三八、七	一〇〇，〇

事業報告	自一三七
一般情勢報告	一
講會諸報告	八
脱退	一〇
國際關係	一一
人事	一二
組合會諸主要日誌	一二
地方協議會の活動	一二
日本勞動組合會議役員	一二
日本勞動組合會議加盟團體の陣容	一二
會計報告書	一二
勞動立法に關する要綱並に決議	一至三三
案	一
赤紙	一至三三
自一至三三	